



おぐに議会だより

第20号

平成27年8月10日

○議長あいさつ

○平成27年度第2回臨時議会

○平成27年6月定例議会

○平成27年度第3回臨時議会

○小国町議会委員構成

○町政を問う(一般質問)

○編集後記

議長就任のごあいさつ

第23代小国町議会議長の渡邊誠次でございます。殊更ながら任務、責任の重さを再確認しているところです。

町の意思を決定する機関としての議会は、町民の意思が反映されることが至上命題です。しっかりと真摯な議論を重ねながら町民、行政、議会がそれぞれの役割を分担し、まちづくりを進めていかなければなりません。十二人の議員が全力を尽くしながら、有効な政策を推進し、課題解決に努めてまいります。

町を取り巻く環境は、国が進める地方創生等により大きな変化を伴います。財政状況においては、税収が伸び悩み安定した歳入の確保が難しい現状です。地方分権により地方自治体が自らの地域で生み出し、造り上げる特徴のある地域づくり、未来を担う子どもたちの育成や少子化対策、高齢者等の医療や福祉の対応

策など行わなければならず、その他にも多くの課題に責任が増しております。

議会としては、この状況を理解し、よりスムーズにスピーディに町の政策や諸事業が進むように。執行部と議会、そして町民との距離感が近づくように。議会が活発になるようにシステムの再構築。この三つを礎に議会議員が自ら研さんを深め、議会の改革、活性化、チェック機能のより一層の充実を図りたいと考えております。

町民の皆様のご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。



第2回臨時議会

平成27年5月8日

【議長選挙】

議長選挙には、2期目の渡邊誠次君（下城）と4期目前議長の高村祝次君（下城）が立候補の意思を示し、決意表明が行われた。議員全員による投票の結果、渡邊君6票、高村君6票となり両者同点となる。その後2名による「抽選」の結果、渡邊君が議長となった。

【副議長選挙】

副議長も同様に議員全員による投票が行われ、穴井帝史君（西里）が副議長となった。投票の結果は、穴井君5票、北里勝義君（北里）4票、時松昭弘君（上田）1票、松崎俊一君（宮原）1票、熊谷博行君（宮原）1票。

■ 発議第2号 広報特別委員会設置に関する決議

全員挙手により設置

■ 専決事項の承認について

専決第1号 小国町税条例等の一部改正

全員挙手により承認

専決第2号 小国町国民健康保険税条例の一部改正

挙手多数により承認

専決第3号 小国町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

全員挙手により承認

専決第4号 小国町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

全員挙手により承認

条例の改正 平成27年6月定例議会 平成27年6月15日～

○ゆうステーションの設置及び管理に関する条例の一部改正

…EV急速充電器の徴収金額を300円に改正するもの

○道路占用料徴収条例の一部改正…上位の道路法施行令改正により金額を改正するもの

反対討論 九電、NTT柱の道路占用料が30%以上削減になる。
公有財産を格安で提供する必要はない。(児玉智博議員)

○農林道占用料徴収条例の一部改正…上位の道路法施行令改正により金額を改正するもの

反対討論 同上の討論 (児玉智博議員)

○法定外公共物管理条例の一部改正…上位の道路法施行令改正により金額を改正するもの

反対討論 同上の討論 (児玉智博議員)

○国民健康保険税条例の一部改正…国民健康保険税の税率を改正するもの(税率などアップ)

反対討論 4月の介護保険料引き上げと合わせると3,700万円
の負担増だ。くらしも地域経済も破壊する。(児玉智博議員)

賛成討論 財源不足に対し一定の繰入と税率の改正を行うもの。
執行部全体で冗費の節減に努めること (穴井帝史副議長)

○小・中学校施設等の開放に関する条例の一部改正…条文の字句を訂正するもの

○教職員住宅管理条例の一部改正…田迎の住宅の用途を廃止するもの(後は移住定住に利用)

◆小国町教育委員の任命

小国町教育委員の辞任に伴い新たに1名の教育委員を任命するもの。任期は4年。

任命 新 原田^{みお}弥央さん(宮原 任期は、平成31年6月30日まで)

◆人権擁護委員の推薦

人権擁護委員の候補者として下記の方を推薦するもの。任期は3年。

推薦 再 石松英雄さん(西里 任期は、平成30年9月30日まで)

	議案番号	事件名	採決結果	穴井 帝史	大塚 英博	北里 勝義	高村 祝次	児玉 智博	時松 唯一	穴見 まち子	松崎 俊一	熊谷 博行	時松 昭弘	松本 明雄
条例・補正予算・人事案件など	議案第37号	小国町ゆうステーションの設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第38号	小国町道路占用料徴収条例の一部改正	否決	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×
	議案第39号	小国町農林道占用料徴収条例の一部改正	否決	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×
	議案第40号	小国町法定外公共物管理条例の一部改正	否決	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×
	議案第41号	小国町国民健康保険税条例の一部改正	否決	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×
	議案第42号	小国町立小・中学校施設等の開放に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第43号	小国町教職員住宅管理条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	議案第44号	平成27年度小国町一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
	同意第4号	小国町教育委員の任命	可決	賛成多数										
	諮問第1号	人権擁護委員の推薦	可決	全員賛成										
	発議第3号	安全保障関連法案について反対する意見書(案)	否決	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×

補正予算

平成27年6月定例議会

平成27年6月15日～

○一般会計補正予算 (第1号)

427,501千円を追
加し、総額4,822,
501千円とするもの。

■主な内容

LED防犯灯1,
660千円、ふるさと
寄付金謝礼8,000千
円、地方バス補助33,
000千円、環境モデ
ル1,652千円、臨時
福祉給付13,200千
円、子育て世帯給付2,
250千円、農業振興
1,900千円、畜産
振興1,266千円、林
業振興1,300千円、
商工振興6,400千
円、観光振興16,
542千円、木質バイオ
マス関係(木魂館)45,
000千円、道路新設
改良175,000千
円、住宅関係14,
055千円、防火水槽
9,700千円など

補正予算

第3回臨時議会

平成27年7月13日

○一般会計補正予算 (第2号)

26,554千円を追
加し、総額4,849,
055千円とするもの。

■主な内容

城村最終処分場適正
閉鎖対策に係る阿蘇広
域圏事務組合への負担
金
昭和48年から小国町
及び南小国町で使用し
てきた粗大ゴミ処分場
を廃止するための工事
に対する負担金



城村最終処分場

小国町議会委員構成表

平成27年5月8日現在

議席番号	氏名	常任委員会			特別委員会 広報	議会運営委員会	病院長 組合員 協議会	広域行政 事務組合 協議会	共有財産 協議会 委員	まちづくり 審議会 委員	上下水道 運営審 議会委員	国保運営 協議会 委員	議会選出 員 監査委員
		総務 福祉 委員	文教 常任 委員	産業 常任 委員									
		6人		5人	4人	4人	3人	3人	2人	2人	2人	2人	1人
(議長) 12	渡邊 誠次												
(副議長) 1	穴井 帝史			○	○	○			○				
2	大塚 英博	○			副		○			○			
3	北里 勝義	○						○			○		
4	高村 祝次			○							○		
5	児玉 智博	○											○
6	時松 唯一			○			○		○				
7	穴見まち子	副			副			○				○	
8	松崎 俊一	正			正	○						○	
9	熊谷 博行			副	○	正	○		○				
10	時松 昭弘	○						○		○			
11	松本 明雄			正	○		○						



大観峰トンネル実現に向けての取組みは

大塚 英博

【産業課長】農業振興に於いては、農業担い手支援補助金による活動助成を行っている。また担い手支援給付金という助成制度もある。

【情報課長】商工業関連として、地方創生先行型実施計画の中で、おもてなし事業、空き家対策事業、操業支援事業を予定している。

【町長】地熱と木質バイオマスを活用した農林業タウン構想を進めている。農業用ハウスに於いての果実栽培、温泉を設置した福祉施設等将来に向けて考えられるが、まずわいたエリアの地元の方の生活の向上と小国町民の生活の向上と安全を確保し、泉源などに影響がないよう注意しながら共同で、進めていく事が大事だと思う。

【町長】地熱と木質バイオマスを活用した農林業タウン構想を進めている。農業用ハウスに於いての果実栽培、温泉を設置した福祉施設等将来に向けて考えられるが、まずわいたエリアの地元の方の生活の向上と小国町民の生活の向上と安全を確保し、泉源などに影響がないよう注意しながら共同で、進めていく事が大事だと思う。



木の駅プロジェクト

【町長】南北両町の担当で集まり、準備会の為の準備会を起ち上げるのはどうかという考えを持っている。これについては、行政のみではなく議会のご協力も大変必要かと思っている。



地方創生実現に向けて町の具体策は

時松 唯一

【町長】の施政方針は、1月25日熊本市での地方創生フォーラム内容のコピーそのものである。人口減少、農業担い手不足、空家増加等を改善するには、小国町の生活基盤向上を図ることが重要ではないか。

【町長】新たな地域資源を活用するための木質利用、地熱利用を続ける。

【町長】環境モデル都市、小国町（総合計画、総合ビジョン）等、実現したとしても、10年、20年後、だとすれば目標数値を掲げ、計画達成することが重要ではないか。

【町長】具体的、個別毎に計画作成はこれからである。

【町長】県からの県立小国高校入学を進めるには、寮が必要ではないか。

【町長】小国町1,000世帯の所得が100万という現実をみれば小国高校存続は町全体の課題ではないか。

【町長】存続するために何が必要か、この部分（寮）は検討している。



県立小国高等学校

【建設課長】駐車場造成等の実施設計は9割程度完了している。

【町長】国交省の枠組みのなかで、重点道の駅という認定（全国30ヶ所）モデル地域、重点モデル道の駅は全国3ヶ所という事もあり、財源が合致すれば展開していく。

【建設課長】整備局からまちづくりと一体とした防災対策等の提案がある。



町長 三期末 公務に対する マニフェストを問う

高村 祝次

【町長】小国創生「ストップ人口減」「赤ちゃんから高齢者まで楽しく暮らせる町づくり」とあるが具体策はあるのか。

【町長】世帯減少による田畑の維持ができない。そこで地域の絆を深め子どもから大人まで小国で暮らして良かった。と思える町づくり、伝統文化を重んじながら世帯を確保し、時代のニーズに併せていく。楽しく暮らせるというのは年配者の健康が大事。あらゆる政策が必要だと考えている。閩南小国町の旅館、ホテルで働く当町の人数把握はできているか。経済がなければ人口は減少、小国の観光は涌蓋山麓、杖立温泉が主である。住民一人一人が町おこしをしなければならない。また小国高校は絶対存続とあるがどのようにして存続させるのか。

【情報課長】各旅館とも2割から3割程度勤務している。正式ではないが、こういう状況です。

【町長】小国高校だという特色を持たせ考えていく。

閩小国を巡回する「コミュニティバスが必要と思うが乗合タクシーで交通手段の充実を図るとあり。運転手不足もあるがどのように考えているのか。

【町長】乗客者がいない場合もあり、乗合タクシーをオンデマンド（必要なときに必要な台数を走らせる）方式に変えた。路線バス廃止地域は再度考える。

閩環境モデル都市について、畜産農家も公害（排泄物）の出ない町づくりをすべきであり、徹底指導しなくてはならない。指導受けている農場に対して対策はなされているのか。

【町長】できる範囲部分で意見交換し、方策を考えている。

【産業課長】早急に改善し、再稼働する約束をしている。



負担能力を超える国保税

児玉 智博

閩戦前の国保法第1条では「相互扶助の精神」となっていたのが、1958年の全面改正で「社会保障及び国民保健の向上に寄与する」となった。つまり、国保は単なる相互扶助ではなく社会保障であり、国が財政支援を果たすために国庫負担が導入されていると考えるが、町長の基本的認識はどうか。

【町長】相互扶助と社会保障という2つの側面があると思う。

閩この間、国保財政が悪化する中で国保税が値上げされてきた。一人当たりの国保税はこの30年で3万6,375円から8万1,301円へと2.2倍になっている。所得250万円の夫婦と子ども2人の世帯で41万3,500円の税負担だ。今の国保税は高すぎるという認識はあるか。

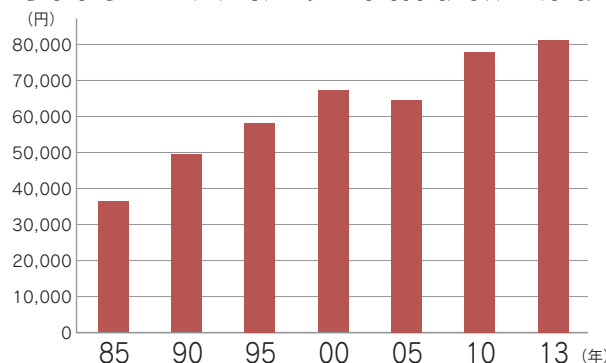
【町長】少ない収入から保険税を払っているという町民の負担感には認識するが、ここ8年間は増税していないし、他町村と比較し

たら決して高くない。

閩生活保護基準をギリギリ上回っている低所得世帯が保険税を支払う事で生活保護基準以下に落ち込むという実態がある。この問題について、町内の実態調査を行なったか。どれ程の世帯が保険税により生活保護基準を下回っているか。

【福祉課長】個人情報に触れる問題なので調査は難しいと考える。

小国町の一人当たりの国保税額の推移





こどもの体力低下に ストップを

熊谷 博行

【町建設中の、プール、給食センター、多目的ホールの工事概要と使用目的をどう考えているか。】

【教委事務局長】既に柔道場は完成している。只今建設中の施設は、小・中学校兼用で使用するのが、プールは、25メートル7コース、低学年・幼児用も設けてある。学校給食センターは、700食の給食提供が可能な施設だ。多目的ホールは、中学生のランチルームとして主に使用する。それ以外には、集会・会合・展示会場に使用する。九月末に完成予定。

【町長】小学校統廃合によりスクールバス通学移行後、6年が経過したが、小・中学校合同運動会を、拝見して明らかに子供たちの体力低下を感じた。体力低下は、仕方ないこととして、体力低下の推移と体力向上のためにどのように取り組んでいるのか。

【教育長】体力測定の方が今と昔では違うが、県の平均より悪い状況だ。筋力・持久力を中心に体力の向上が必要であることを学



小国小・中学校工事

校としては、認識している。対策としては、体育の授業内容を明確にし、補助運動の充実、運動量の確保を優先し取り組む。具体的に、業間運動の設定、鉄棒・ボールへの親しみ等目標を持たせ継続的に取り組む対策を立てている。



地方版総合戦略の策定は

時松 昭弘

【町国が求めている総合戦略策定について今後の取り組みは。】

【町長】町として総合戦略の策定を今行っている。

【政策課長】国の考え方をもとに地域の独自性を出し、人・仕事の環境を作り、子育て支援・雇用等を調査しながら総合戦略の位置づけにして進めて行く。

【町長】過去の計画を加味しながら今の時代に則した戦略を作成して行きたい。

【町長】住民の声を聞きながら作成をし、今までの様な委託料の丸投げ方式ではなく総合戦略の独自性を出して欲しい。

【町長】過去の総合計画の作成に当たり相当な金額を使った記憶がある。

今回は出来るだけ行政内部で手作りで行きたい。

【町長】戦略の予算は手あげ方式の予算となっており、しっかりとした総合戦略が求められる。

【町長】連携をとりながら、進めて行きたいと思う。



消防北部分署

【町長】いくつかその様な環境の所があり、改善をして行きたい。【建設課長】交付金事業を大いに活用し、地権者の理解を得ながら進めて行きたい。

【町長】高齢者も増えており、一日も早い進入路の確保を求める。

【町長】補助を活用し積極的に取り組んで行く。



町に多目的・集客的な 公園を

穴見 まち子

【町長】小国町の旧小学校跡地を使つて、多目的ホール、図書室、ふれあいの場、他はグラウンドゴルフ、ウォーキングなどの幼児からお年寄りまで幅広く利用できる集客、住民参加の公園を考えよう。

【町長】小国町には、現在スギトピア、ケヤキ、下町、殿町などの公園はあるが、遊具はスギトピア公園に有るだけで他にはない。小学校跡地も、下城小、北里小体育館は有効に使われている。他の学校はあまり利用されていないと認識している。また北里小のコミュニティホール、子育て支援センターは、木育で利用している。現状を分析しながら、分散かまとめていくか検討したい。

【町長】老朽化しているが、使用している部分もある。利用している方と検討する必要がある。6次



手作りの館

化産業をして、小国の新しい加工品がでると産業化につながるのではないか。



ふるさと納税と人材育成

北里 勝義

【町長】小国町に於いても地方創生に向けた小国町総合戦略の策定が進められている。町の福祉、教育、産業振興など、まちづくりを活用されるふるさと納税も、これらの取り組みの一役を担うものと考えられる。昨年度の実績と地域別の状況報告、また小国ファンを増やしていくために、県人会や郷人会等とつながりを持ちながらふるさと納税の便り等届け、町をPRしていきたい。町の推進方針を伺う。

【政策課長】ふるさと納税については、平成20年度から取り組んでいる。昨年度は、498件、寄附金総額629万8,555円です。地域別では、関東・関西地方が多くなっている。

【町長】平成27年度については、大幅に拡大していきたいと考えている。手続きの簡素化や返礼品等も工夫していきたい。また母体となる組織づくりを検討していきたい。



ふるさと納税返礼品

【町長】現在、助成制度はないが、福祉、建設・産業部分と併せて調査検討したい。



住宅問題とミルクロードの霧対策

松本 明雄

【町長】関田・柏田住宅の老朽化が目立つ。大規模改修計画案が出来ているが、今後着実に計画通り進めることができるのか。

【町長】できるだけその計画に基づくように考えているが、財源も大変重要などところだ。

【建設課長】大変老朽化が進み27年度より改修計画を示しているが、今年については延期になっている。今後、随時実行していく。

【町長】建設課長】今後の協議ではあるが、抽選という形が一番公平かと思う。

【町長】関田・建設課長】今後の協議ではあるが、抽選という形が一番公平かと思う。

【町長】関田・建設課長】今後の協議ではあるが、抽選という形が一番公平かと思う。

【町長】関田・建設課長】今後の協議ではあるが、抽選という形が一番公平かと思う。

【町長】関田・建設課長】今後の協議ではあるが、抽選という形が一番公平かと思う。



関田住宅

は、雨が降ると霧が多く非常に運転しづらいので、両サイドの白線・中央マーカ―電光掲示板の設置を県に陳情してほしい。

【町長】すべて一年では出来ないと思うが、安全確保のために大事なのでやっていきたい。



小国町の将来は

松崎 俊一

【町長】関田・建設課長】今後の協議ではあるが、抽選という形が一番公平かと思う。

【町長】関田・建設課長】今後の協議ではあるが、抽選という形が一番公平かと思う。

【町長】関田・建設課長】今後の協議ではあるが、抽選という形が一番公平かと思う。

【町長】関田・建設課長】今後の協議ではあるが、抽選という形が一番公平かと思う。

【町長】関田・建設課長】今後の協議ではあるが、抽選という形が一番公平かと思う。

【町長】関田・建設課長】今後の協議ではあるが、抽選という形が一番公平かと思う。

【町長】関田・建設課長】今後の協議ではあるが、抽選という形が一番公平かと思う。

【町長】関田・建設課長】今後の協議ではあるが、抽選という形が一番公平かと思う。



小国小・中学校合同運動会

との意見をいただいた。

【町長】小国町の高齢化は、都市部より早く進んでいる。自治体の努力が必要である。また、観光の面では、外国からの観光客が増えている。語学の勉強は重要となる。

農業後継者問題だが、農業委員会などで今後検討材料としていく。



まち・ひと・しごと創生 法の計画

穴井 帝史

【町長】まち・ひと・しごと創生法について質問したい。まちというのは、国民一人ひとりが夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会の形成だが、まずこれに対して素案でもいいから考えを聞きたい。

【町長】まち・ひと・しごとという部分は、やはりつながりがあると考ええる。地域、山間地、田畑があり、それを維持していく部分が大事だと考える。小国町でも地域

おこし協力隊を採用し、地域の魅力や町の課題に対して積極的に取り組んでいる。人の部分についても、小さいお子さんから年配者まで元気で暮らすという部分が大事だと思う。最近では、東京あたりの高齢者を地方にという動きもあるが、これは政府の意見だ。国からの予算づけ等の問題もあると思う。

【町長】今回の事業に関しては、事業に対してコンサル任せではなく、小国独自のものを提案してもらいたい。



岳の湯の蒸気

【町長】役場組織の中、若しくは町民の代表の方であつたり、どういう組織になるかは定まっていないうが、町独自の内容にしたいと考える。

【町長】最後に2番議員と重なるが、地熱問題について非常に前向きな発言があつた。しかし、地熱開発を進めるには農振地区の除外をしないと進展しないのではないか。

【町長】農地法の関係もあり、ハードルが高いのが実情である。

表紙の写真

「清水の流れ」

2014年度

おくにフォトコンテスト

小国の滝賞

編集後記

今年の梅雨は、雨の日が多かったが、ようやく明け、夏本番を迎えました。

5月の臨時議会において、広報委員の4名が選任され、新体制のもと、年4回(3月・6月・9月・12月)の定例会ごとに『議会だより』を発行致します。

町民の皆さまに議会の内容を分かりやすく伝えていきたいと思ひます。

今後の編集内容も皆さまのご意見、ご要望を賜り町民が関心の持てる『議会だより』の編集に4人力をあわせ4年間頑張つて参ります。よろしくお願ひいたします。



広報特別委員会

委員長 熊谷 博行
副委員長 穴見 まち子
委員 松崎 俊一
委員 穴井 帝史

発行責任者 渡邊 誠次